

平成29年度 決算

銚子市の わかりやすい 決算書



<http://www.city.choshi.chiba.jp/>

～ はじめに ～

本市では、決算の概要をわかりやすく解説した「銚子市のわかりやすい決算書」を発行しています。

本冊子は、難しい内容になりがちな決算について、見やすさを念頭において作成しました。

この「わかりやすい決算」を通して、市の財政に対し、皆様のご理解が深まるきっかけになれば幸いです。

決算額は1円単位で報告するものですが、本書では見やすさを優先し、万円単位（万円未満四捨五入）で表示しています。

また、合計数を合わせるため端数の四捨五入の切り上げ、切り下げを調整している箇所があります。

目次

平成29年度一般会計の主な事業	1
決算の基礎知識	8
各会計の決算状況	9
一般会計決算の状況（歳入と歳出）	10
財政構造の弾力性と健全化判断比率	13
借金残高	15
貯金残高	16
近隣市との比較	17

まずは、平成29年度決算における一般会計の主な事業を紹介するちょ！

主な事業は、7つに分けられるちょ！！

- | | | | |
|---|-------------|-----|--------|
| 1 | 地方創生関連事業 | ・・・ | 2ページ |
| 2 | 保健・医療・福祉の充実 | ・・・ | 3ページ |
| 3 | 教育・文化の振興 | ・・・ | 4ページ |
| 4 | 産業の振興 | ・・・ | 5ページ |
| 5 | 都市基盤の整備 | ・・・ | 6ページ |
| 6 | 生活環境の整備 | ・・・ | 6～7ページ |
| 7 | 効率的な行政運営 | ・・・ | 7ページ |





平成29年度一般会計の主な事業





○○○○○○○○事業		
	担当課	○○○○課
	事業費	○○○万円
	財源	補助
借金		○○○万円
市		○○○万円
○○○○○○○○		


- 国や県、その他の機関からの補助金・交付金・負担金など
- 将来にわたって返済していくお金
- 市税や使用料、基金などの銚子市の自主財源
- 事業の概要




地方創生関連事業

スポーツ合宿施設整備 スポーツ合宿施設運営		
	担当課	企画課
	事業費	1億3,491万円
	財源	補助
借金		5,980万円
市		816万円
スポーツタウン構想に係る旧銚子高校野尻校舎の体育館改修費用等へ助成を行いました。		

銚子円卓会議運営		
	担当課	総務課
	事業費	1,366万円
	財源	補助
借金		
市		787万円
まちづくりに関わる様々な主体（地方自治体、金融機関、NPO法人など）が連携し、協議を行う円卓会議へ助成を行いました。		

ヘルスツーリズム推進		
	担当課	観光商工課
	事業費	4,321万円
	財源	補助
借金		
市		2,160万円
地域の自然資源や食材を活用した健康増進ツアーで、地域活性化を行う「ヘルスツーリズム」の取組を行うNPO法人に対して助成を行いました。		

観光DMO構築		
	担当課	観光商工課
	事業費	4,488万円
	財源	補助
借金		
市		2,244万円
行政、民間企業及び地域住民が連携し、地域が一体となった観光振興、観光地づくりの中心を担う団体に対して補助を行いました。		

保健・医療・福祉の充実

生活困窮者自立支援

	担当課	社会福祉課	
	事業費	927万円	
	財源	補助	698万円
		借金	
		市	229万円

生活保護に至る前の自立支援策として、自立相談支援事業等を実施しました。

放課後児童健全育成

	担当課	子育て支援課	
	事業費	7,767万円	
	財源	補助	4,571万円
		借金	
		市	3,196万円

市内の公立放課後児童クラブの運営を指定管理者に委託し、実施しました。

子ども医療費等給付

	担当課	子育て支援課	
	事業費	1億4,641万円	
	財源	補助	4,654万円
		借金	
		市	9,987万円

0歳から中学生までを対象とし、通院、調剤及び入院に要する医療費の助成を行いました。

低所得者世帯民間放課後児童クラブ 利用支援補助

	担当課	子育て支援課	
	事業費	23万円	
	財源	補助	
		借金	
		市	23万円

低所得の世帯の利用希望者が、民間の放課後児童クラブを利用する場合に、公立を利用する場合の減免額と同額となるように助成を行いました。

予防接種

	担当課	健康づくり課	
	事業費	8,271万円	
	財源	補助	
		借金	
		市	8,271万円

各予防接種費用の一部について、助成を行いました。また、平成29年度から子どもに対する季節性インフルエンザワクチンの接種費用の一部助成も開始しました。
(対象者：生後6か月～中学校3年生)

銚子市立病院運営


	担当課	医療対策課	
	事業費	2億1,976万円	
	財源	補助	
		借金	
		市	2億1,976万円

市立病院の安定運営のため、必要な経費の一部を市が負担しました。(貸付金を除く)



教育・文化の振興

地域交流促進

	担当課	総務課	
	事業費	929万円	
	財源	補助	
		借金	240万円
	市	689万円	


地域交流施設として利活用するため、廃校となった旧第八中学校改修の設計事務などを行いました。

学校図書館司書配置

	担当課	学校教育課	
	事業費	181万円	
	財源	補助	
		借金	
	市	181万円	


小学校の図書館に司書2人を配置し、図書館運営や学習活動の支援などを行いました。

猿田地区児童通学支援

	担当課	教育総務課	
	事業費	524万円	
	財源	補助	
		借金	
	市	524万円	

猿田小の閉校に伴い、遠距離通学となる児童に対して、安全を確保するためスクールバスを運行しました。

日本遺産魅力発信推進

	担当課	生涯学習スポーツ課	
	事業費	112万円	
	財源	補助	
		借金	
	市	112万円	

日本遺産の魅力を発信し、地域振興及び観光振興に取り組むため、「銚子市日本遺産活用実行委員会」への補助などを行いました。

銚子ジオパーク支援

	担当課	生涯学習スポーツ課	
	事業費	992万円	
	財源	補助	117万円
		借金	
	市	875万円	

ジオパークへの誘導標識の整備や、銚子ジオパーク推進協議会へ運営費の補助などを行いました。

ブックスタート

	担当課	公正図書館	
	事業費	23万円	
	財源	補助	
		借金	
	市	23万円	

乳児健診の際に、親子に絵本の読み聞かせ、配付を行いました。



産業の振興

創業支援			
	担当課		観光商工課
	事業費		242万円
	財源	補助	
		借金	
		市	242万円
市内で起業・創業を目指す方を支援するため、中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対して、支援を行いました。			

企業・起業家誘致推進			
	担当課		観光商工課
	事業費		1,662万円
	財源	補助	1,595万円
		借金	
		市	67万円
市外の企業や起業家の誘致による地域経済の活性化を図るため、「お試しサテライトオフィス」の開設などを行いました。			

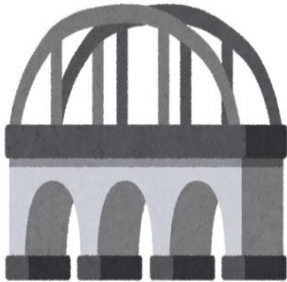
スポーツツーリズム推進			
	担当課		観光商工課
	事業費		150万円
	財源	補助	
		借金	
		市	150万円
犬吠埼エンデューロ（サイクルレース）の開催費用の一部に対して、助成を行いました。			


鮎子水産まつり負担			
	担当課		水産課
	事業費		390万円
	財源	補助	
		借金	
		市	390万円
鮎子に水揚げされる魚をPRし、消費拡大へとつなげるため、水産まつりの運営費などを負担しました。			


鮎子農産まつり負担			
	担当課		農産課
	事業費		161万円
	財源	補助	
		借金	
		市	161万円
鮎子で採れる農産物をPRし、消費拡大へとつなげるため、農産まつりの運営費などを負担しました。			

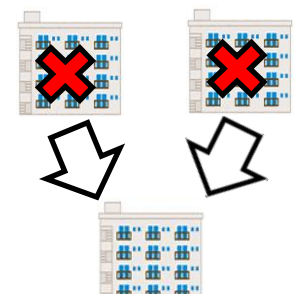
担い手確保・経営強化支援			
	担当課		農産課
	事業費		681万円
	財源	補助	681万円
		借金	
		市	
担い手の経営発展に向けた取組を支援するために必要な機械・施設の導入を支援しました。			

5 都市基盤の整備


橋りょう長寿命化対策 (社会資本整備総合交付金事業)				
	担当課	土木課		
	事業費	9,867万円		
	財源	補助	5,317万円	
		借金	3,550万円	
		市	1,000万円	
長寿命化修繕計画に基づき、市道の橋りょうの点検、修繕を行いました。				


市道舗装修繕 (防災・安全交付金事業)				
	担当課	土木課		
	事業費	6,462千円		
	財源	補助	3,486千円	
		借金	2,620千円	
		市	356万円	
舗装修繕計画に基づき、市道の路面調査及び舗装修繕工事を行いました。				

市営住宅改修 (長寿命化計画関連事業)				
	担当課	都市整備課		
	事業費	4,943万円		
	財源	補助	2,436万円	
		借金	2,500万円	
		市	7万円	
老朽化した市営住宅の長寿命化改修等を行いました。				

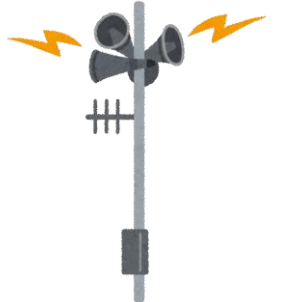
市営住宅集約				
	担当課	都市整備課		
	事業費	1,701万円		
	財源	補助		
		借金		
		市	1,701万円	
三崎団地の集約に伴う内装工事などを行いました。				

6 生活環境の整備

ごみ処理広域化施設整備				
	担当課	生活環境課		
	事業費	2億276万円		
	財源	補助		
		借金	1億500万円	
		市	9,776万円	
銚子市、旭市、匝瑳市の3市共同で広域ごみ処理施設を整備するため、事業実施者の一部事務組合に対し、負担しました。				

東部分署整備 西部分署整備				
	担当課	消防本部 消防総務課		
	事業費	1億295万円		
	財源	補助		
		借金	9,430万円	
		市	865万円	
消防署所再編計画に基づいて、東部分署の建設工事及び西部分署車庫棟の建設工事を行いました。なお、東部分署は、平成30年度までの事業となります。				

防災行政無線再整備

	担当課	総務課	
	事業費	3,750万円	
	財源	補助	
		借金	3,740万円
	市	10万円	

防災行政無線の子局（11局）をデジタル化するための工事を行いました。（平成29年度で事業完了）

消防ポンプ自動車等整備（署用）

	担当課	消防本部 消防総務課	
	事業費	3,395万円	
	財源	補助	
		借金	2,620万円
	市	775万円	

消防力の充実強化を図るため、古くなった消防ポンプ自動車の更新を行いました。

効率的な行政運営

総合計画改定

	担当課	企画課	
	事業費	33万円	
	財源	補助	
		借金	
	市	33万円	

今後の市の方針を位置づける新たな総合計画を策定するため、市民が一体となってまちづくりを進めるため、市民参加によるワークショップを開催しました。

行政改革

	担当課	財政課	
	事業費	13万円	
	財源	補助	
		借金	
	市	13万円	

効率的な行財政運営を行うため、行財政改革審議会や行財政改革市民委員会委員の事前研修を行いました。



ここにあげた事業以外にも、いろいろな事業を行っているちょ！

どんなサービスを行っているかは、歳入歳出決算に係る主要な施策の成果（市のホームページに掲載中）でみることができるちょ！

決算の基礎知識

決算のあらまし

一般会計の歳入は前年度に比べ6億3,501万円増（2.6%増）の249億2,443万円となりました。これは、銚子市漁業協同組合への製氷工場建設費助成事業の県支出金の増などにより、国・県支出金が前年度と比べて10億14万円増（23.9%増）したこと、財政調整基金の取り崩しの増などにより、繰入金が前年度と比べて2億9,797万円増（188.4%増）したこと及び自主財源の大部分を占める市税が個人所得の増などにより前年度と比べて1億9,534万円増（2.4%増）したことが主な要因です。

次に歳出ですが、こちら前年度に比べ5億4,500万円増（2.3%増）の246億4,950万円となりました。これは、旧銚子高校野尻校舎の解体費用で1億7,829万円、銚子市漁業協同組合への製氷工場建設費助成事業に対する助成金で10億7,450万円それぞれ皆増したことが主な要因です。

この結果、歳入歳出差引額は2億7,493万円の黒字となり、これから翌年度への繰越財源3,734万円を差し引いた実質収支額は2億3,759万円となりました。

しかしながら、銚子市の財政運営の中で問題となっているのが、市の貯金である財政調整基金の現在高の少なさです。

平成29年度においては、3億円の財政調整基金を取り崩しているため、年度末残高は、2億1,531万円まで減少してしまいました。

銚子市の財政規模であれば、15億円程度の現在高があると望ましい状況ですが、現状とは大きくかけ離れています。

財政調整基金が少なくなってしまうと、安定した財政運営ができなくなるばかりか、突発的に発生する災害などへの予算措置ができなくなってしまうます。

今後も更に事務事業の見直しや市債の借入抑制を行い、財政調整基金の現在高を適正な額に維持しながら、安定した財政運営を目指す必要があります。

最後に企業会計及び特別会計についてですが、特に国民健康保険事業会計において、歳入歳出差引額が2億6,701万円の歳入不足（赤字）となり、平成28年度決算に引き続き、不足額を翌年度の歳入で繰上充用しました。今後は、財政健全化への取組は必須であり、具体的には、保険料徴収強化、未収金対策及び医療費適正化（特定健康診査受診率向上、ジェネリック医薬品使用促進など）を行っていく必要があります。



「一般会計」は、福祉や教育などの基本的な行政サービスを行うための会計ちょ！

「特別会計」は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行うための会計ちょ！

「企業会計」は、地方公営企業法が適用される事業として区分され、水道事業と病院事業を行うための会計ちょ！



各会計の決算状況



区分	一般会計	国民健康保険事業 特別会計	下水道事業 特別会計
歳入総額 ①	249億2,443万円	98億5,395万円	23億2,711万円
歳出総額 ②	246億4,950万円	101億2,096万円	23億2,625万円
歳入歳出差引額 ①-② ③	2億7,493万円	▲2億6,701万円	86万円
翌年度への 繰越財源 ④	3,734万円	—	19万円
実質収支 ③-④	2億3,759万円	▲2億6,701万円	67万円

区分	介護保険事業 特別会計	後期高齢者医療事業 特別会計
歳入総額 ①	57億4,401万円	7億6,471万円
歳出総額 ②	57億3,382万円	7億6,370万円
歳入歳出差引額 ①-② ③	1,019万円	101万円
翌年度への 繰越財源 ④	—	—
実質収支 ③-④	1,019万円	101万円

「翌年度への繰越財源」とは、年度内に完了することができずに、翌年度へ繰り越すこととなった事業に充てる財源であり、事業と同様に翌年度へ繰り越す必要があります。

「実質収支額」とは、その年度の歳入から、歳出と「翌年度への繰越財源」を差し引いたものです。この値がマイナスとなる状態を、一般的に『赤字』といいます。

平成29年度では、国民健康保険事業特別会計で、2億6,701万円の赤字となります。



一般会計決算の状況（歳入と歳出）



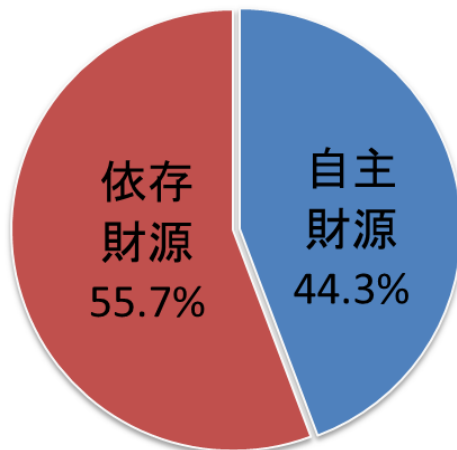
歳入決算状況

項目	説明	決算額	
		平成29年度	平成28年度
自主財源	市が自主的に集めることができる収入です。	110億4,680万円	107億8,393万円
市税	皆さんが銚子市に納めた税金です。	83億3,734万円	81億4,200万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて、利用者が負担するお金です。	2億3,506万円	2億4,898万円
使用料及び手数料	施設を利用する時や住民票などを発行する時にかかるお金です。	6億3,550万円	6億2,815万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	4億5,615万円	1億5,818万円
その他	寄附金、土地や建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。	13億8,275万円	16億 662万円
依存財源	国や県から交付される財源や市債（借金）のことです。	138億7,763万円	135億 549万円
地方交付税	国に納められた税金の一部で、市の財政状況に応じて配分されるお金です。	51億 180万円	53億2,143万円
国・県支出金	国や県に納められた税金の一部で、特定の事業を行うために市に配分されるお金です。	51億8,356万円	41億8,342万円
市債	学校や道路などの施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金です。	20億2,727万円	25億1,957万円
その他	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金等です。	15億6,500万円	14億8,107万円
計		249億2,443万円	242億8,942万円



自主財源が多いほど、財源に余裕ができるため、自主的な事業ができるちょ！！

平成29年度





歳出決算状況（目的別）

項目	説明	決算額	
		平成29年度	平成28年度
議会費	議会運営のための経費です。	2億 345万円	2億 407万円
総務費	財産管理、統計、税の課税や徴収などの事務にかかる経費です。	30億7,108万円	27億6,917万円
民生費	障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費です。	81億7,102万円	82億4,802万円
衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。	25億7,147万円	26億1,122万円
労働費	勤労者のための各種施設管理などにかかる経費です。	1,360万円	3,797万円
農林水産業費	農林水産業の振興、漁港整備などにかかる経費です。	14億1,886万円	3億4,904万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	4億6,293万円	4億1,531万円
土木費	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費です。	16億3,593万円	15億9,267万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	11億4,752万円	21億2,654万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費です。	27億1,598万円	24億9,026万円
災害復旧費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	6,138万円	8,789万円
公債費	市債の元金、利子や一時借入金の利子のことです。	31億7,628万円	31億7,234万円
計		246億4,950万円	241億 450万円



経費を行政目的
毎に分類したもの
じょ！



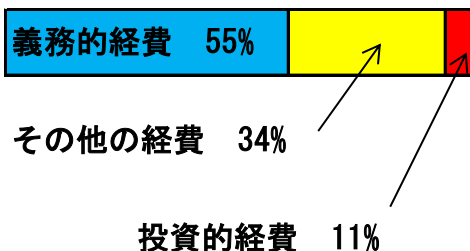
歳出決算状況（性質別）

項目	説明	決算額	
		平成29年度	平成28年度
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	134億8,543万円	134億4,911万円
人件費	職員の給料などに要する経費です。	56億5,257万円	55億8,190万円
扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に要する経費です。	46億5,658万円	46億9,487万円
公債費	借金の返済などに要する経費です。	31億7,628万円	31億7,234万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など施設等の整備に要する経費です。	26億2,279万円	23億4,193万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	16億9,283万円	4億1,635万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	8億6,624万円	18億3,527万円
災害復旧事業費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	6,372万円	9,031万円
その他の経費		85億4,128万円	83億1,346万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	29億7,754万円	27億5,041万円
維持補修費	施設の維持補修に要する経費です。	1億8,362万円	1億3,905万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	13億3,858万円	11億7,288万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	1億 601万円	6,942万円
投資・出資金	水道事業会計等に対する出資金です。	1億1,978万円	1億3,033万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費です。	4億7,270万円	7億 995万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	33億4,305万円	33億4,142万円
計		246億4,950万円	241億 450万円



必ず支出しなければならない義務的経費が55%もあるじょ！

平成29年度決算





財政構造の弾力性と健全化判断比率

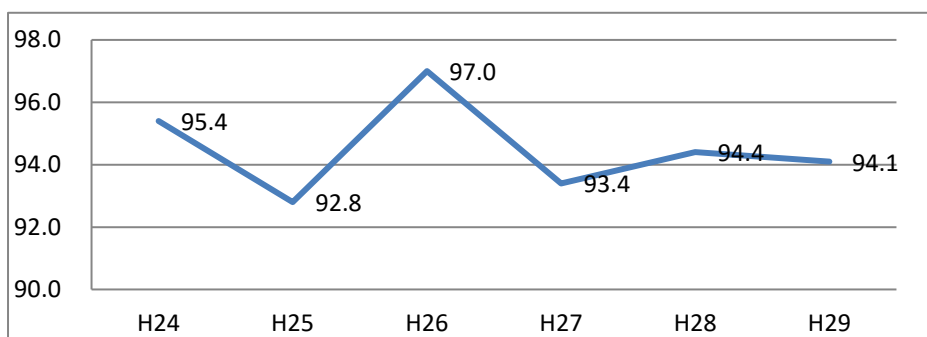


財政構造の弾力性を表す経常収支比率は94.1%です。



経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費等のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源が、一般財源総額のうち地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源に対し、どの程度の割合となっているかをみることに
より、財政構造の弾力性を判断するもので、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

経常収支比率の推移



平成29年度は、前年度の94.4%から94.1%へ若干ですが改善したものの、依然として高い状況に変わりはありません。

主な要因は、経常的収入である普通交付税が2億2,000万円ほど減ったこと及び経常的に支出される経費である人件費及び補助費等に充当された一般財源が減ったことです。

健全化判断比率って？



『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』（平成19年6月22日公布）により、市は財政の健全度を判断するために設けられた健全化判断比率の算定及び公表が義務付けられています。

詳細は次のページに記載されていますが、市の健全度を判断するためには、4つの比率が用いられており、一定の基準を超えたときには、財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。



健全化判断比率及び資金不足比率について



実質赤字比率

一般会計等の赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。



連結実質赤字比率

全ての会計における赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。



実質公債費比率

一般会計等がその年に負担すべき借金の返済額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。



将来負担比率

一般会計等が将来にわたって負担を求められる負債の額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。

健全化判断比率の状況	平成29年度決算	平成28年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	-	12.80%	20.00%
連結実質赤字比率	-	-	17.80%	30.00%
実質公債費比率	13.7%	13.7%	25.00%	35.00%
将来負担比率	163.8%	167.1%	350.00%	基準なし

※ 早期健全化基準及び財政再生基準は、平成29年度の数値です。

健全化判断比率の他市比較	年度	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
実質赤字比率	平成29年度	-	-	-	-
	平成28年度	-	-	-	-
連結実質赤字比率	平成29年度	-	-	-	-
	平成28年度	-	-	-	-
実質公債費比率	平成29年度	13.7%	8.5%	5.6%	8.5%
	平成28年度	13.7%	8.6%	5.2%	8.6%
将来負担比率	平成29年度	163.8%	0.0%	27.5%	55.2%
	平成28年度	167.1%	0.0%	30.0%	54.6%

※ 平成29年度の指標数値は、速報値となります。

平成29年度決算の指標は、左上の表「健全化判断比率の状況」のとおりとなりますが、同じく左下の表「健全化判断比率の他市比較」をみると、近隣の市よりも指標数値が非常に高いことがわかります。

本市は、借金残高（＝地方債現在高）が非常に多い上に、通常見込まれる収入及び市の貯金（＝基金）が少ないことが影響していると考えられます。

指標数値がさらに悪化すると…



イエローカード

健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも、『早期健全化基準』を超えるとイエローカード状態となります。

早期健全化基準を超えると、議会の議決が必要な財政計画を策定する必要が生じ、市主導で事業を行うことが難しくなります。



レッドカード

健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも、『財政再生基準』を超えるとレッドカード状態となります。

財政再生基準を超えると、議会の議決が必要な財政計画を策定する必要が生じることはもちろんのこと、市の主導で事業を行うことはほぼ出来なくなり、国（総務省）主導で財政運営を行わなければなりません。



資金不足比率

各公営企業会計において、資金不足額がその事業規模に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。

資金不足比率の状況	29年度決算	28年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.00%
病院事業会計	-	-	20.00%
下水道事業特別会計	-	-	20.00%

※ 経営健全化基準は、平成29年度の数値です。

借金残高

一般会計借金残高(市債現在高)見込み

項目	平成29年度末	平成28年度末	項目	平成29年度末	平成28年度末
普通債	158億9,310万円	167億6,903万円	その他	126億5,126万円	126億6,767万円
総務	31億7,820万円	33億4,855万円	減税補てん債	3億2,090万円	4億671万円
民生	8,736万円	9,369万円	臨時税収補てん債	0万円	4,161万円
衛生	12億8,824万円	13億5,985万円	臨時財政対策債	119億9,718万円	117億8,194万円
農林水産	11億8,628万円	13億39万円	退職手当債	2億5,698万円	3億2,432万円
商工	4,009万円	4,495万円	減収補てん債	7,620万円	1億1,309万円
土木	30億3,080万円	32億5,726万円	計	285億5,361万円	294億4,846万円
住宅	1億2,139万円	1億1,518万円	市民1人当たり	452,815円	457,594円
消防	16億8,238万円	15億9,216万円			
教育	52億7,836万円	56億5,700万円			
災害復旧債	925万円	1,176万円			
農林水産	0万円	13万円			
土木	910万円	1,120万円			
教育	0万円	13万円			
その他	15万円	30万円			

借金の残高は、近年減ってきていますが、近隣市と比較すると高い状況にあります。今後の大規模事業の状況で、大きく変わる可能性があります。

☆ 近隣市の平成29年度末借金残高～
 ※ 平成29年度決算カードより

- 旭市 280億3,614万円
(市民1人当たり 422,034円)
- 匝瑳市 167億1,823万円
(市民1人当たり 449,354円)
- 香取市 400億6,843万円
(市民1人当たり 514,767円)

学校や道路などの大きな施設の整備には一時的に何千万円、何億円といった多額のお金が必要になります。そのお金を1年間の予算でまかなってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また、学校や道路などの大きな施設は現在の市民だけでなく、将来30年から40年もの長い間、たくさんの方が利用する施設ですので、将来の市民の方にも平等に負担していただくことも、市債を活用する理由の一つです。

世代間の負担の公平を図る上で市債発行の意義はもちろんありますが、前ページのとおり、近隣市と比較すると、健全化判断比率が非常に高い状況のため、ただ市債を漫然と発行するのではなく、市債を発行する事業の選択及び交付税措置のない市債の発行抑制を今後行っていきます。

※市民1人当たりの金額は、平成30年1月1日現在の市の人口から算出しています。



貯金残高

貯金残高（基金現在高）見込み

基金名	平成29年度末残高	平成28年度末残高
財政調整基金	2億1,531万円	4億2,528万円
災害救助基金	1億2,074万円	1億2,556万円
国民健康保険事業財政調整基金	0万円	0万円
一般廃棄物処理施設整備基金	164万円	5,109万円
豊里住宅団地公共施設整備等基金	3億9,395万円	4億406万円
減債基金	96万円	96万円
ふれあい福祉基金	1,950万円	1,468万円
介護保険事業財政調整基金	3億4,821万円	3億820万円
環境保全基金	0万円	0万円
協働のまちづくり推進基金	0万円	0万円
地域再生基金	6,296万円	3,509万円
がんばれ銚子ふるさと応援基金	1,205万円	1,349万円
公共施設整備等基金	1,457万円	2,748万円
民力復興基金	1,261万円	2,251万円
銚子電気鉄道応援基金	2,501万円	1,918万円
一般廃棄物最終処分場設置地域振興基金	34万円	39万円
計	12億2,785万円	14億4,797万円
市民1人当たりの財政調整基金現在高	3,414円	6,608円

基金とは市の貯金にあたるもので、予算不足に充てるための「財政調整基金」と使いみちが決められている「特定目的基金」に分けられ、その残高を表しています。

以下の表のとおり、近隣の市と比較すると、銚子市の財政調整基金がいかに少ないかがわかってと思います。今後は、財政調整基金の現在高を適正な額に維持していかなければなりません。

☆近隣市の財政調整基金現在高（平成29年度末）

（市民1人あたりは、平成30年1月1日現在の人口で算出）

※ 平成29年度決算カードより

旭市 94億8,930万円（市民1人あたり 142,844円）

匝瑳市 30億5,748万円（市民1人あたり 82,179円）

香取市 68億 793万円（市民1人あたり 87,463円）



普通会計決算の近隣市との比較



市民1人当たりの歳入決算額



項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
自主財源	174,953円	177,469円	146,148円	214,760円
市税	132,217円	115,072円	105,694円	113,585円
分担金及び負担金	2,358円	1,947円	4,027円	2,695円
使用料及び手数料	11,970円	9,944円	3,369円	5,692円
繰入金	7,234円	5,854円	9,896円	52,531円
その他	21,174円	44,652円	23,162円	40,257円
依存財源	220,879円	280,471円	259,182円	266,467円
地方交付税	80,907円	135,423円	128,477円	108,420円
国・県支出金	82,957円	81,328円	75,351円	82,068円
市債	32,197円	37,642円	28,608円	48,265円
その他	24,818円	26,078円	26,746円	27,714円
計	395,832円	457,940円	405,330円	481,227円



市民1人当たりの目的別歳出決算額



項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
議会費	3,226円	3,461円	5,179円	2,917円
総務費	44,855円	82,798円	45,483円	76,128円
民生費	131,407円	129,257円	140,634円	138,261円
衛生費	41,967円	66,199円	45,888円	30,514円
労働費	216円	25円	0円	137円
農林水産業費	22,499円	24,690円	14,863円	18,264円
商工費	7,341円	5,650円	5,970円	10,615円
土木費	27,002円	29,809円	21,675円	40,404円
消防費	18,380円	17,647円	20,774円	34,843円
教育費	43,199円	41,994円	44,099円	52,855円
災害復旧費	1,010円	0円	147円	980円
公債費	50,371円	42,964円	41,731円	48,842円
計	391,473円	444,494円	386,443円	454,760円



市民1人当たりの性質別歳出決算額



項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
義務的経費	213,858円	203,292円	191,276円	189,096円
人件費	89,641円	83,256円	66,163円	62,251円
扶助費	73,846円	77,072円	83,382円	78,003円
公債費	50,371円	42,964円	41,731円	48,842円
投資的経費	41,646円	52,923円	38,433円	65,750円
普通建設事業費(補助)	26,846円	24,919円	13,959円	40,565円
普通建設事業費(単独)	12,658円	27,134円	24,327円	22,659円
県営事業負担金	1,132円	870円	0円	1,546円
災害復旧事業費	1,010円	0円	147円	980円
その他の経費	135,969円	188,279円	156,734円	199,914円
物件費	47,566円	48,829円	46,070円	44,246円
維持補修費	2,912円	2,655円	6,358円	2,629円
補助費等	21,229円	58,459円	60,048円	70,287円
積立金	1,681円	35,441円	1,273円	29,860円
投資・出資金、貸付金	9,396円	4,784円	6,298円	6,147円
繰出金	53,185円	38,111円	36,687円	46,745円
計	391,473円	444,494円	386,443円	454,760円

普通会計とは、他団体と比較するとき用いられる会計です。総務省の定める一律の基準で各地方公共団体間の財政比較が可能になるようにしています。

本市は、他市と比較すると、人件費が多く、補助費等が少ないことが大きな特徴となっています。これは、市立高校を有しているため、教育関係の職員数が多いことやごみ処理業務、消防業務などを直営で行っているため、一部事務組合に対する負担金が少ないことが要因といえます。

なお、ごみ処理業務は、一部事務組合（東総地区広域市町村圏事務組合）の広域ごみ処理施設が平成33年度から稼働する予定です。

またもう1つの特徴として、公債費が他市と比較すると非常に多いということです。これは、千葉科学大学建設費助成事業や市立高校整備など大規模な事業が平成16年度以降続いたため、その償還が毎年あります。大規模事業の中には、償還が終了したものもありますが、千葉科学大学建設費助成事業の償還が終了する平成37年頃までは、比較的高いと考えられます。



平成29年度決算
銚子市のわかりやすい決算書



■発行年月日 平成30（2018）年11月

■発行・編集 銚子市・企画財政課財政室

〒288-8601 銚子市若宮町1番地の1

電話 0479-24-8926

Fax 0479-25-4044

■銚子市ホームページ

<http://www.city.choshi.chiba.jp/>
